

No. 5 4 2021: Mar.



Moretto 《モレット》



NSスマート検査路(高強度ステンレス製検査路)



キュアロード



Focus

すすめ!テクノロジー NETIS登録技術4の「技」・・・・・・・2 Moretto《モレット》 HK-200017-A

NSスマート検査路(高強度ステンレス製検査路) HK-200018-A キュアロード HK-200019-A MSセンサー HK-200020-A

お知らせ

197の新技術がNETISへの掲載を終了します。





□5 新技術展示を開催しました!

第64回(令和2年度) 北海道開発技術研究発表会 新技術展示(民間企業が開発した新技術の紹介)開催報告

■公開期間: 令和3年2月15日(月)~2月19日(金)

北海道開発局が実施する社会資本整備における技術的な課題の解決と、技術力向上及びその普及を図ることを目的として、 新技術展示を開催しました。

新技術展示では行政ニーズに対して技術の募集を行っており、民間企業から応募のあった6技術について、北海道開発局の ウェブサイトで公開しました。

「北海道開発技術研究発表会 新技術セッション(新技術展示) | のページにて令和2年度の開催結果として公開しております。 公開URL: https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/gijyutu/ud49g7000000wkbv.html

技術名	展示者
山岳トンネル統合型掘削管理システム(i-NATM)	株式会社 安藤・間
3DVR による重機の遠隔操縦システム	株式会社 フォーラムエイト
ノンステージング工法	株式会社 技研製作所
杭と柱の接合工法 (ECS-TP 工法)	株式会社 三誠
ピタッと L 型止水テープ	ニチレキ 株式会社
線状流電陽極方式電気防食工法「NAKAROD 方式」	株式会社 ナカボーテック

北海道開発技術研究発表会 新技術セッ ション (新技術展示)

ページ内目次

- ▼令和2年度 北海道開発技術研究発表会 新技術展示 ▼過去の開催報告
- ▼メニュー▼お問合せ先

令和2年度 北海道開発技術研究発表会 新技術展示

= 募集技術の発表

北海道開発局が実施する社会資本整備における技術的な課題に対して、着実な 成果を得ることと民間企業等の技術力向上や経営力向上を目的とし、新技術展示 として技術を募集しました。

■ 新技術展示発表技術概要 (PDF:806KB)



01. 山岳トンネル統合型掘削管理シス テム (i-NATM)



02. 3DVRによる重機の遠隔操縦シ



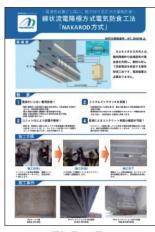
03. ノンステージング工法



04. 杭と柱の接合工法(ECS-TPエ



05. ピタッとL型止水テープ



06. 線状流電陽極方式電気防食工法 「NAKAROD方式」

すすめ!テクノロジー

NETIS登録技術4の大文

国土交通省では、新技術に関する情報収集、収集した新技術情報の共有及び提供、直轄工事等での活用、事後評価、さらなる活用促進までを一連の流れとして取り組んでいます。この中核となるのが、新技術に関する情報収集・共有を図る手段として整備されたデータベースシステムである「新技術情報提供システム(NETIS:New Technology Information System)」です。

ここでは、NETISに登録されている「新技術」の中から、本年度10月から1月までに北海道で新規登録された技術について紹介致します。

※ここで紹介する技術の概要は、NETISに登録されている内容から抜粋したものです。詳細については、NETIS検索ページをご覧ください。

https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS

※新技術は現場条件を考慮し、技術の留意事項を踏まえた上で、活用をお願いします。

HK-200017-A

~積雪の柵間漏れ出し対策工~

Moretto《モレット》

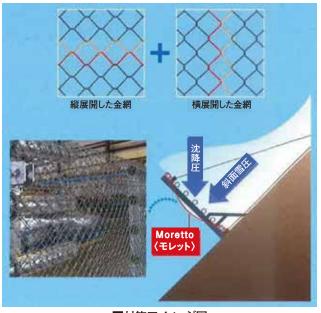
本技術は、雪崩予防柵の柵間部に高強度のモレット金網を「縦展開」・「横展開」に重ね合わせて設置することにより、「斜面雪圧」・「沈降圧」に抵抗し、柵間部からの積雪の漏れ出し及びそれに伴う雪崩等を予防する工法です。鋼材(柵やアンカー)の使用を最小限にできるため、経済性、施工性および安全性の向上が期待できます。

- 〇適用工事 道路防雪工事
- 〇従来技術との比較

経済性	工程	品質	施工時の 安全性	施工性	周辺環境 への影響
向上	短縮	同等	向上	向上	向上

■問合せ先

(技術) 北海道トーコー(株) 新製品開発グループ TEL 011-726-3185 (営業) 北海道トーコー(株) 営業グループ TEL 011-726-3185



■対策エイメージ図

HK-200018-A

~高強度ステンレス鋼を利用した、橋梁、高架道路、工場等での高耐食性点検用通路~

NSスマート検査路(高強度ステンレス製検査路)

本技術は、高強度・高耐食性を発揮する二相系ステンレス鋼を、強度部材に利用した 検査路です。ステンレスの優れた防錆性能により、耐食性と長寿命化による経済性の向 上が期待できます。また、高強度材による断面剛性の向上と薄型軽量化の実現により、 イニシャルコストの抑制とともに、床版下面からの点検作業スペースを広く利用すること が可能です。

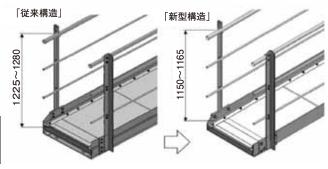
〇適用工事 橋梁等の上部および下部工検査路、河川構造物の点検路等

〇従来技術との比較

経済性	工程	品質	施工時の 安全性	施工性	周辺環境 への影響
向上	同等	向上	同等	向上	向上

■問合せ先

(技術)(株)楢崎製作所 設計部 TEL 0143-59-3891 (営業)(株)楢崎製作所 営業部営業課 TEL 0143-59-5131



■NSスマート検査路本体

HK-200019-A

~インバートコンクリートの長期養生工法~

キュアロード

本技術は、インバートコンクリート打設後、高い保温・保水性能を有する養生マットと、 軽量で耐久性に優れたエスレンブロックをインバートコンクリート上面に設置することで、 切羽作業を行いつつ長期保温・湿潤養生を可能にした工法です。インバートコンクリート の強度と表層緻密性の向上を図ることで、耐久性及び品質の向上が期待できます。

〇適用工事 トンネル工事

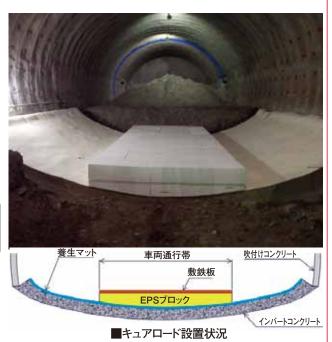
〇従来技術との比較

経済性	工程	品質 施工時の 安全性		施工性	周辺環境 への影響
向上	同等	向上	向上	向上	向上

■問合せ先

(技術)積水化成品工業(株) 第一事業本部生活資材事業部 住環境グループ TEL 03-3347-9659

(営業)岡三リビック(株) 北海道支店 TEL 011-222-3351



HK-200020-A

~グラウト充填状況を確認する検知システム~

MSセンサー

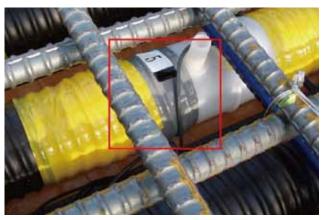
本技術は、センサー部(熱電対とヒーターで構成)の周囲に、放熱係数の大きなグラウトが到来すると、熱が奪われてセンサー温度が低下し、出力電圧が変化することを利用して、グラウトの充填状況を確認するものです。従来の確認方法に本センサーを追加することで、目視確認が困難な場所も電気的に充填検知が可能となり、品質の向上が期待できます。

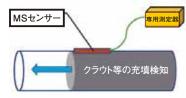
○適用工事 PC橋梁工事、トンネル工事、PC床版敷設及びPC床版取替工事 ○従来技術との比較

経済性	工程	品質 施工時の 安全性		施工性	周辺環境 への影響
低下	同等	向上	同等	同等	同等

■問合せ先

(技術·営業)東亜電器(株) 函館工場 TEL 0138-42-9331





■MSセンサー本体(貼付タイプ)



197の技術がNETISへの掲載を終了します。

令和3年3月31日までに協議が成立しない場合、工事成績評定の加点【新技術活用】の 対象外となります

新技術活用システムは平成18年4月1日より本格運用が開始され、令和3年度は16年目を迎えます。

NETIS (新技術情報提供システム) の掲載期間は10年と定めており、今年度末に登録から10年経過した197技術が削除されます。

※197技術についてはこちら

⇒https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS/Files/NetisRev/DownLoad/公表用リスト(2月予告):R3.3掲載終了となる技術リスト.pdf

下記の技術は今回掲載終了する技術の中で、多く採用されていた技術です。

北海道開発局の発注者指定型でよく使われる技術

技術名	NETIS登録番号
シャックル連結式大型連節ブロック	HK-100025-VE
KB目地Jタイプ	HK-100037-VE

北海道開発局活用ランキング(全型式)

順位	技術名	NETIS登録番号
1	ソーラー式LED表示機	KK-100021-VE
2	安全建設気象モバイルKIYOMASA	KT-100110-VE
3	大容量燃料タンクを搭載したエコベース発電機及び溶接機	KT-100042-VE
4	間伐材を利用した木製掲示板(製造時と植林システムによるCO2削減)	HK-100017-VE
5	油吸着分解剤「オイルゲーター」	KT-100036-VE
6	軽トラック積載対応型屋外可搬式トイレユニット	CB-100037-VE

※登録番号(□□-10××××-VE)の先頭数字が10の技術が対象です。

工事成績評定の加点【新技術活用】の対象外となります。

掲載終了技術は、今後も活用頂けます。

工事成績評定の加点対象となる基準日は、活用を決めた日になります。活用の型によっては基準日が複数あります。



- 施工者選定型(発注前)においては、公告日を 基準日とする。
- 2 発注者指定型においては、公告日又は契約後の 協議成立日を基準日とする。
- 3 全ての発注方法において、契約後に発注 者又は工事受注者(施工者)が新技術を活 用しようとした場合は、受発注者間の協議 が成立した日を基準日とする。

※総合評価においても、公告日を基準日とするので、新技術の活用提案に注意願います。 協議資料にNETISの該当ページを添付して下さい。

(掲載終了後は、見ることができません)



NETIS

新技術情報提供システム

NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM





編集/北海道開発局 事業振興部 技術管理課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 TEL:(011)709-2311(代表) 内線5652 FAX:(011)708-4532

■ご意見・お問い合わせ先: mail:hkd-ky-netis2@gxb.mlit.go.jp